



五月(大) 阜月 斗宿

五月五日立夏の節より
月命乙巳五黄土星の月
暗剣殺 なし

旧四月大
五月小

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	月	つちのえ	ね	一粒万倍日、高岡御車山祭、 梅デー、一粒万倍日、 旧四月大	六	先負	なる	畢	母倉	4.49	18.27	9.06	7.29
2日	火	つちのえ	と	八十八夜、下関海峡祭(4日迄)、 奈良東大寺聖武祭	七	佛滅	おさん	觜	十し	4.48	18.28	10.08	7.43
3日	水	かのえ	と	八十八夜、下関海峡祭(4日迄)、 奈良東大寺聖武祭	八	大安	ひらく	参	ちいみ	4.47	18.29	11.10	21.27
4日	木	かのえ	と	八十八夜、下関海峡祭(4日迄)、 奈良東大寺聖武祭	九	赤口	と	井	神よし	4.46	18.30	12.12	22.41
5日	金	みのえ	た	八十八夜、下関海峡祭(4日迄)、 奈良東大寺聖武祭	十	先勝	と	鬼	大みぞ	4.45	18.31	13.12	23.09
6日	土	みのえ	と	八十八夜、下関海峡祭(4日迄)、 奈良東大寺聖武祭	十一	友引	た	柳	●	4.44	18.32	14.11	24.27
7日	日	きのえ	う	東京下谷神社祭、天しや、不成就日	十二	先負	の	星	よるづ	4.43	18.32	15.08	25.21
8日	月	きのえ	と	世界赤十字デー	十三	佛滅	み	張	大みぞ	4.42	18.33	16.04	26.02
9日	火	ひのえ	さ	愛鳥週間、笠間稲荷御田植祭	十四	大安	たい	翼	神よし	4.41	18.34	17.00	26.57
10日	水	ひのえ	と	望六時四分、長良川鵜飼開き	十五	赤口	さ	軫	十し	4.40	18.35	18.49	27.42
11日	木	つちのえ	い	望六時四分、長良川鵜飼開き	十六	先勝	と	角	●	4.39	18.36	19.43	28.27
12日	金	つちのえ	と	看護の日、三隣亡	十七	友引	や	亢	くま日	4.38	18.37	20.35	29.12
13日	土	かのえ	ね	看護の日、三隣亡	十八	先負	あ	氐	月とく	4.37	18.38	21.25	29.97
14日	日	かのえ	と	看護の日、三隣亡	十九	佛滅	なる	房	五む日	4.36	18.39	22.13	30.82

五月は「阜月」(さつき)、つづしが鎌倉の季節である。新緑の季節とも薫風の季節ともいい、快適な月といつてよい。この月のうち、からりと晴れた日を「さつき晴れ」といい、爽快の代名詞として使われている。立春から数えて八十八日目ころは茶摘みときである。「八十八夜の別れ霜」の言葉どおり、この日から後に霜の降りることはめったになく、霜害の心配はなくなる。珍重される新茶は、この期に霜の降りなかつた新芽茶のことである。

【冠】五月五日の祝日は、「こどもの日」、端午の節句である。三月三日の女子の節句に對し、この日は男子の節句といわれ、桃の節句の雛飾りに匹敵するものとして、屋外に鯉のぼり、屋内では武者人形や鎧兜(よろいかぶと)を飾る。供える菓子は柏餅(かしわもち)やちまきで、ともに戦国時代の携帯食糧の伝統と考え

日	曜日	干支	九星	行事	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	月	みのえ	と	沖繩本土復帰記念日、京都葵祭、不成就日	廿	大安	おさん	心	大みぞ	4.36	18.39	22.13	30.82
16日	火	みのえ	と	一粒万倍日	廿一	赤口	ひらく	尾	母倉	4.35	18.40	23.02	31.67
17日	水	きのえ	た	日光東照宮春季例大祭、一粒万倍日	廿二	先勝	と	箕	大みぞ	4.35	18.41	23.39	32.52
18日	木	きのえ	と	国際親善デー	廿三	友引	た	斗	●	4.34	18.41	24.27	33.37
19日	金	ひのえ	う	下弦九時三分、奈良唐招提寺開扉まき、奈良興福寺新能	廿四	先負	の	牛	大みぞ	4.33	18.42	25.12	34.22
20日	土	ひのえ	と	酒田まつり、福井三國祭、伊豆下田黒船祭(19日、21日)	廿五	佛滅	み	女	くま日	4.33	18.43	26.00	35.07
21日	日	つちのえ	さ	小満五時三分、真宗本派親鸞聖人誕生会、浅草三社祭	廿六	大安	たい	虚	ちいみ	4.32	18.44	26.50	35.92
22日	月	つちのえ	と	不成就日	廿七	赤口	さ	危	十し	4.31	18.44	27.42	36.77
23日	火	かのえ	い	不成就日	廿八	先勝	と	室	百事よし	4.31	18.45	28.37	37.62
24日	水	かのえ	と	神戸湊川神社補公祭(26日迄)、三隣亡	廿九	友引	や	壁	大みぞ	4.30	18.46	29.32	38.47
25日	木	みのえ	と	東京上野五條天神祭、東京湯島天神祭、鶴岡化けもの祭、八せん始め	卅	先負	あ	奎	天おん	4.30	18.47	30.27	39.32
26日	金	みのえ	と	朔四時四分	朔	大安	なる	婁	天おん	4.29	18.47	31.22	40.17
27日	土	きのえ	と	小田原道了尊大祭	二	赤口	お	胃	母倉	4.29	18.48	32.17	41.02
28日	日	きのえ	と	横浜善光寺身代り不動明王祭、福岡宮崎宮さつき大祭、一粒万倍日	三	先勝	ひ	昂	神よし	4.28	18.49	33.12	41.87
29日	月	ひのえ	た	一粒万倍日	四	友引	と	畢	大みぞ	4.28	18.49	34.07	42.72
30日	火	ひのえ	と	旧端午、不成就日	五	先負	た	觜	●	4.27	18.50	35.02	43.57
31日	水	つちのえ	ま	世界祭煙デー	六	佛滅	の	参	くま日	4.27	18.51	35.97	44.42

【婚】昔は、この時期に婚をするのは少なかつた。農家においてはなおのこと、嫁の手は計算ずみで初春に婚姻し、できれば婚約者の手もあてにした、足入れ婚などの言葉が残っていたのも農繁期の人手はしさの風習であつたのだから。

【祭】五月一日は労働者の日である「メーデー」。国際的なもので、わが国では大正九年に第一回集會を持ち、昭和十三年に中止、昭和二十一年に復活して今日に至っている。

三日は「憲法記念日」。第二次世界大戦終了後、それまでの帝国憲法に代わつて、昭和二十二年五月三日から施行された「日本国憲法」の実施記念の祝日である。

四日は「みどりの日」。平成十七年祝日法の改定により決定した。平成十九年より施行される。

五日は「こどもの日」。国民の祝日としては、児童福祉の日となつては、児童の日となつては「母の日」で、母への感謝の気持を表わそうという日である。